

今月の言葉：

価値観の違いを認め合う



デンドロビウム
魅惑

より良い人間関係を築くためには、相手が自分と違う環境で育ってきたということに思いを巡らす必要があります。

土台が異なれば、お互いの価値観も違ったものになるでしょう。

この点を理解していれば、たとえ意見が食い違ったとしても、お互いの考えのどこに違いがあるのかを冷静に探る中で、意見を擦り合わせるができるのではないのでしょうか。

相手の言葉に耳を傾け、「違い」は「違い」としてそのまま受け止めた上で相手の理解に務めることは、自分の持ち味に気づくことにもつながるでしょう。

事件ファイル No. 212

防犯カメラ映像流出について

日本国内の防犯カメラなどのライブ映像が海外サイトに公開されている問題で、海外サイトを經由せずに、外部から直接見られる状態にある日本の屋内・敷地内のカメラ映像が少なくとも約 3,000 件あることがわかった。

読売新聞と情報セキュリティ会社「トレンドマイクロ」の分析で判明した。海外サイトに公開された映像数（計約 500 件）の 6 倍に上り、無防備なカメラがより多く存在する実態が浮き彫りとなった。

読売新聞とトレンドマイクロは、これまでの調査で、日本国内のカメラ映像などを公開している海外の 7 サイトを特定。7 サイトに公開された日本の屋内・敷地内の映像は 10 月時点で、保育園や食品工場など計約 500 件確認された。

今回は、7 サイトに公開された映像以外に、外部から見られる状態の国内のカメラ映像がないか、インターネットにつながった IoT 機器の情報を全世界で収集する海外の検索サービスを利用し、今月中旬に調査した。その結果、約 4,100 件が抽出され、うち屋内とみられる映像は約 750 件、敷地内（屋内以外）は約 2,200 件あった。

IoT機器の検索サービスで分析



屋内ではマンションのエントランスが最も多く、子ども関連施設、高齢者施設、医療機関、住宅、オフィス、大規模商業施設、食品工場も複数あった。敷地内は駐車場や駅のホーム、港湾施設、牛舎など。7 サイトにある映像と同じものも一部あったが、大半は異なる映像だった。

カメラの IP アドレス（インターネット上の住所）から割り出された設置地域は、屋内・敷地内を合わせ、東京都が約 700 件と最多で、福岡県約 290 件、大阪府約 220 件、北海道約 210 件と続いた。カメラの多くは、パスワードを入力する認証の手続きが設定されていないため、公開状態になっているとみられる（読売オンライン抜粋）。

今月の良い話

徘徊と笑うなかれ

母が認知症になった30年前には、病気への理解がまだ進んでいませんでした。

認知症の家族を人目につかないよう家から出さないという家庭もありました。

でも父は、「何が恥ずかしいものか。俺が愛して愛して結婚したお母さんだぞ。病気が心臓、肺にくる人がいるようにお母さんは病気が脳にきただけだ」と、いつも母の手を固く握って散歩に出ていました。認知症の母がどうやって散歩するかというと、がに股で歩きながら数分ごとに立ち止まり「あー、あー」と声を上げ、人とすれ違えば誰構わず触ろうとする。

2人の散歩についていく時、私は恥ずかしくて仕方がありませんでした。

ある日、散歩中に小学生くらいの子供が足元の小石をぱっと拾って、「ばーか」と言いながら母に投げつけ、逃げていったことがありました。

いつものことなのでしょうが、父は母に寄り添ったまま堂々と歩き続けましたが、私はかっとなってその子を追いかけようとしてしまいました。

すると父は、「病気を知らない子を叱ってはだめだ」と私をこう諭してくれたのです。

「あの子よりも問題があるのは幸之助だ。おまえはお母さんのことをいつも恥ずかしがっているだろう？ がに股で歩こうが、あーっと声を上げようが、それはおまえの母親が認知症を抱えながら必死に生きている姿なんだぞ。息子のおまえにはそれが分からんのか」認知症になっても、人間はその時その時を必死に生きている。

父の言葉を思い出すと、いまでも涙が込み上げてきます。

この言葉が後に母の介護に向き合うことになる私の心を支えてくれました。



また、詩人としての講演活動で各地を訪れた時に、私はお土産屋さんで売っている小さなキューピー人形を母によく買っていきました。

なぜ人形を買うようになったかという、認知症が分かった頃の母がいつも家にあったキューピー人形を抱っこし、真顔でその人形にキスをしたり、オムツを替えたりしていたからです。

当時の私には、自分は正常な世界にいて、母は異常な世界にいるのだという思いがあり、

「何でそんなことをするんだ」と母を叱ってばかりいました。

しかし人形を離さない母の姿を見てみると、もしかしたらあの人形は私か兄、幼くして亡くなった姉の誰かなのかもしれないとふと感じたのです。

私は「できる、できない」「分かる、分からない」で向き合っていましたが、母には「感じる、感じない」は残っていた。母の心は若い頃の自分に戻り、若い頃の世界をしっかりと生きている。

頭の中に広がっている世界に生きているという意味では母も私も同じ。

そう思えた時、正常な世界と異常な世界という区別が消えていきました。

今月の良い話

顔はすべてを語る

宿舎に向かうバスに乗る時、チームリーダーの先輩に謝ると、「謝って済むならお巡りは要らん！」と思いきり蹴飛ばされ、私はバスの外へ転がり落ちた。死にたい気分だった。

バスの座席に戻っても、出てくるのはため息ばかり。ああ俺は最低だ。

もう野球なんかやめて国へ帰り、土建屋の親父の手伝いでもしようか。

外は暗く、車窓に映る自分は何とも情けない顔をしていた。しかし、このまま終わりたくはなかった。なんとかこの借りを返したい。

自分を使ってくれた三原監督、好投を続けていたエースの川崎さんに恩返しをするためにも。なぜあんなエラーが起きたのか。

大事な場面で動きが止まらない方法はないか。一年間、心に残ったトラウマと闘いながら私は考え続けた。

そしてついに、「動いて捕って、動いて投げる」独自のスタイルをみ出したのである。

守備に自信を得た私は、打撃の勝負強さにも磨きがかかり、攻守にわたる活躍で西鉄の黄金時代を支えた。

この体験から得たことは、単に野球の技術に関する事ばかりではなかった。

私を蹴飛ばした時の先輩の顔。

極悪人のように醜くゆがんだその顔は、いまだに忘れることができない。

また、バスの車窓に映った自分の顔は、何とも言えず情けなかった。

顔は、その人の心をつぶさに表していることに私は気づいたのである。

バッターボックスに立って相手ピッチャーの顔を見る。緊張してこわばってれば必ず甘い球が来るから、私は逃さずはじき返した。

逆に、キャッチャーのサインを落ち着いてのぞき込んでいる時には、結構いい球が来る。

そういう球は簡単には打てないから、ファールで粘ってチャンスを待った。

意識して見れば、何気ない相手の表情からいろんなことが分かってくる。

チャンスに強いと言われた私のバッティングも、そのことに気づいていたことが大きい。顔というのはバカにならないのである。

しかし、多くの人は自分の顔についてあまりにも無知である。

髭剃りで毎日鏡をのぞき込んでいても、肝心の自分の顔をちゃんと見ていない。

特に責任ある立場に立つ人には、もっと自分の顔に注意を払っていただきたいものだ。

やはり人間、一番いいのは笑顔である。

自分の生き方を貫いてきた人は、ニコッと笑っただけで相手の心をつかむことができる。

人生の辛酸を嘗め尽くしてきたお年寄りが、時に見せる少年のような笑顔は、

接する者を何ともいえない嬉しい気持ちにさせる。

どんな組織でも、上の人間から笑顔で明るく「おはよう」と声を掛けている所はうまくいっているはずである。

顔というのは、年とともに変わっていく。

若い頃の私は、いま考えると恥ずかしくなるくらい生意気な顔をしていた。

野球選手として脂の乗っていた頃は、目つきが鋭いといって怖がられた。

現役を退いてからは人間的な幅も広がり、

それが多少なりとも表情に反映されてきているように思っている。

顔にはその人の生きざまが刻み込まれ、年とともに独自の味わいを醸し出してくるものだ。



プロ太の小話集

No. 212

並と上の違い

男がステーキを食べようとレストランに入った。

並にしようか上にしようか迷っていると、隣のテーブルにステーキの並が運ばれてきた。

見てみると、非常に硬そうで、隣の客がなかなか切れないステーキに苦労していた。

「こんな硬いステーキじゃあ、頼んだだけ損だな」男はステーキの上を注文した。

しばらくすると、並と同じような硬そうなステーキが運ばれてきた。

男は怒りながらウェイターを呼んだ。

「なんだこのステーキは。上を頼んだのに、並と同じようなステーキじゃないか

上と並は一体どんな違いがあるんだ」

ウェイターは涼しい顔をして答えた。

「上にはどんな硬い肉も切れるナイフが付いています」



現在、映像流出で問題となっているカメラは、旧式のIPカメラ（LANや無線）でパスワード設定のないものが多いようです。

弊社で取り扱うカメラは、9割が同軸ケーブルを利用したカメラなので、カメラごとのIPアドレスは存在しません。したがって、直接カメラに侵入することは不可能です。見守りカメラなど、簡易的なタイプも脆弱性が疑われます。

弊社のシステムで遠隔監視を行う場合は、クラウド型ではなく、専用ソフトをインストールし、メーカーのサーバーを利用して、カメラ用IPアドレスを付与し、パスワードを設定しています。2重のセキュリティ構造にはなっていますが、インターネット接続していますので、外部からの侵入を100%ブロックできるわけではありません。定期的なパスワード変更をお勧めします。

応
援
団
体
企
業



三国水材株式会社

加盟団体

RID2770 川口モーニングロータリークラブ

NPO法人 さいたま起業家協議会

公益社団法人 千葉東法人会

公益財団法人 モラロジー道德教育財団

<https://kawaguchi-morning.jp/>

<https://saitama-kk.org/>

<https://www.chibahojin.jp/>

https://www.moralogy.jp

事業所

商号 株式会社ケイプロ

屋号 都市防犯プランニング社

本社 埼玉県蕨市中央1-7-1シティタワー蕨

千葉支店 千葉県千葉市中央区新町1-20江澤ビル

<https://k-puro.co.jp/>

mail info@k-puro.co.jp

TEL 048-446-9445

TEL 043-243-6110

業務内容

機械警備事業 弊社のセキュリティプランにセコム・ALSOKの大手警備会社のインフラを使用

防犯カメラ事業 周辺環境・建物構造・人的要因等を加味し用途に沿ったカメラ選別と適位置へ設置

損害保険事業 セコム損害保険の代理店としてお客様に最適なプランをご提案